

二〇一九年度

沖縄大学 一般入試（中期）

# 「国語」 （解答例）

・法経学部 法経学科

・人文学部 国際コミュニケーション学科

福祉文化学科

こども文化学科

・健康栄養学部 管理栄養学科

国語 解答例

問一 ①含まれて ②つづられた(「つづられた」は不可) ③おぎなったり

④比較 ⑤ごい ⑥情景(状景も可) ⑦へだたって ⑧総動員

⑨ふせげる ⑩効果 ⑪さしえ ⑫転換 ⑬抱えて ⑭かせられて

問二 Aしかし、 B要するに、 Cしかも、 Dでは、 Eもちろん、 Fさらには、

問三

その場の状況や話題についての共通の認識や、身ぶり手ぶり、表情、声音などの助けのある話し言葉とは異なり、文字だけによる書き言葉では、たくさんの説明を補わなくてはならないし、誤解が生じないように前もって配慮することも必要である。(百十二字)

- ・文意に沿って話し言葉と書き言葉の違いが説明されているか。

問四

想像力は、他者とかかわっていくためにも、いろんな仕事をしていくためにも、必要不可欠な力である。つまり、コミュニケーションをとるときにも、この先起こりうることを予測することにも役立つものだ。(九十二字)

- ・主語に「想像力」が用いられていること。
- ・他者とかかわる(コミュニケーションの)側面、いろいろな仕事をしていく(未来を予測する)側面、の両面を指摘していること。

問五 イ

問六

読書力とは、まず書き言葉レベルの言葉を使う力であり、次に想像力であり、第三に全体を見渡して論理的に考える力である。(五十七字)

- ・「書き言葉」、「想像力」、「全体を見渡して論理的に考える力」の語句を必須とする。

問七

読書は単なる娯楽や趣味ではなく、正確で豊かな書き言葉を習得したり、生きていく上で必要な想像力や論理的な思考能力を身に付けたりするうえで必要不可欠なことが理解できた。とりわけ読書によって培われる想像力については、人の心中を思いやるばかりでなく、頭のなかに未来図を描き出すという働きがあるということに納得できた。映像やコンピュータに時間をさくことが多いわたしは、意識して読書力を鍛えていくように努力してゆきたい。(二〇五字)

・表記、字数(適切であるか)

・内容(文章で表現されている読書の意義、「書き言葉(正確な言葉づかい、豊富な語彙)」、「想像力」、「全体を見渡して論理的に考える力」についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか)